

単位制の成果

充実したキャリア教育を実施

単位制になり、生徒たちが主体的に講座を選択できるようになりましたが、そのためには、将来の生き方(夢)を踏まえ、それを実現するための進学すべき学部学科を考えさせる必要があります。そこで、その支援を図るべく、単位制完成年度生となる60回生(単位制3期生)が、単位制1・2期生の取り組みを継承しながら、本校独自の「キャリア教育」を体系的に構築する役割を担うことになりました。単位制推進委員会での議論を経て、ガイ

ダンス合宿や修学旅行における大学訪問などを柱にした、次のような充実したキャリア教育の形態が出来上がりました。

1年次5月

ガイダンス合宿

京都府にある「私のしごと館」を訪れ、宇宙開発・プログラマー・新聞記者・看護師・建築家など様々な職業を体験します。この行事は、将来の進路に結びつく確かな職業観を養うとともに、進路意識の高揚を図ることを目的としています。

1年次7月

4大学セミナー

東京大・京都大・大阪大・神戸大の現役大学生(本校OB)を招き、学生生活や講義内容などについて教えてもらう行事です。最新かつ具体的な情報や裏話も聞くことができます。貴重な時間となっております。生徒の学習意識向上に役立っています。

1年次10月

職業ガイダンスセミナー

医師・弁護士・大学研究者・教師・官公庁公務員・税理士・社会福祉士・銀行員・警察官等、様々な職業に就いておられるOBの先輩方に直接、仕事内容や遣り甲斐など体験談や採用状況、進路実現のための心構え、さらに、有意義な高校生活の過ごし方等について教えていただく行事です。30余りの職種の中から、

毎日新聞記者
馬淵晶子氏



生徒たちは1日2講座、計4講座を受講しますが、「全く知らなかった職業にも興味を持てる良い機会だ」「もっと沢山の職業について聞きたい」といった積極的な感想が多く寄せられています。

就職の展望を持つことは、大学・学部を選択を左右することもあり、仕事現場のナマの声が聞けるこの行事を今後さらに拡充していきたいと考えています。

OBの諸先輩方には、是非ともご支援、ご協力いただきますようよろしくお願いします。

1年次2月

校内弁論大会

自分の意見・主張を適切にまとめ、大勢の聞き手に対して効果的に伝える手法・技術を学ぶと共に、他者の意見を聞く適切な態度を身につけ、また弁士に対する共鳴・批判を通して、自らの意見を高めることを目的に行っています。平成20年度は元NHKアナウンサーの高梨敬一郎氏の講演を拝聴し、効果的な弁論方法について学びました。将来のキャリアに生かせるコミュニケーション能力の育成を目指しています。校内弁論大会上位入賞者は次年度、東高祭のステージで発表します。



鳥取大学医学部教授 福本宗嗣氏(20回生)



「私のしごと館」にて本格的な職業体験!